

令和5年（2023年）の八幡平の火山活動

仙台管区気象台
地域火山監視・警報センター

2020年中頃からみられていた八幡平・秋田焼山周辺での膨張性の地殻変動は2022年終わり頃から鈍化しています。広域地震観測網による地震活動に特段の変化は認められませんが、今後の火山活動の推移に留意が必要です。

○ 噴火警報・予報の状況、2023年の発表履歴

2023年中変更なし	噴火予報（活火山であることに留意）
------------	-------------------

○ 2023年の活動概況

・ 噴気など表面現象の状況（図1～3）

2月に陸上自衛隊東北方面隊の協力により実施した上空からの観測では、前回の観測と比較してよんご沼南でみられる噴気や地熱域の状況に特段の異常は認められませんでした。藤七温泉付近では、2021年10月の現地調査で確認された噴気や地熱域、温泉水の湧出が引き続き認められました。

・ 広域地震観測網による地震の発生状況（図4、図5）

八幡平付近を震源とする地震は少ない状態で経過しました。

・ 地殻変動の状況

GNSS連続観測で認められていた2020年中頃からの八幡平（及び秋田焼山）を挟む基線の伸びの変化は、2022年終わり頃から鈍化しています（令和5年（2023年）の秋田焼山の火山活動参照）。

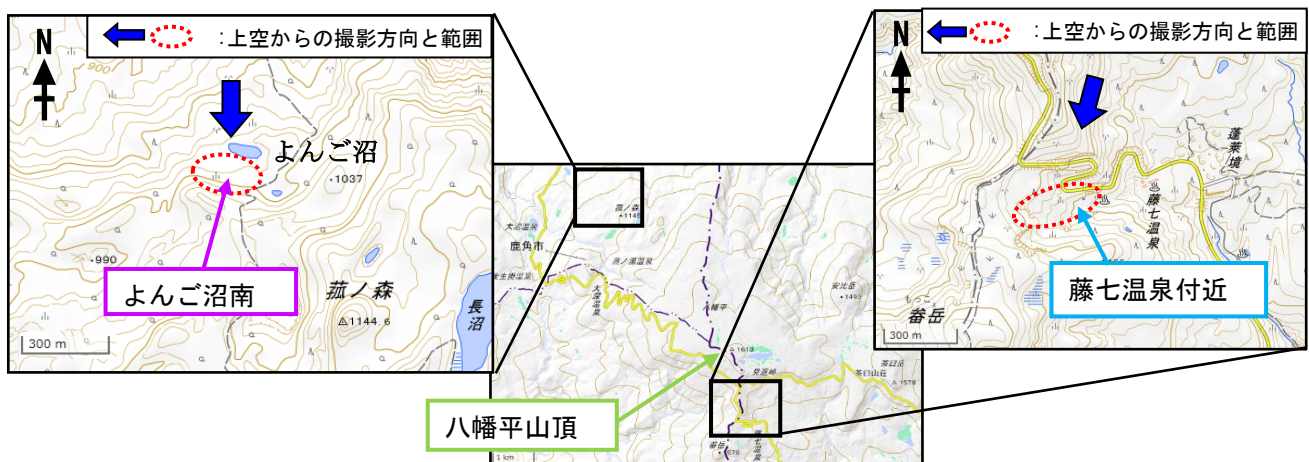


図1 八幡平 写真と地表面温度分布の撮影対象及び撮影方向

この資料は気象庁ホームページで閲覧することができます。

https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php

資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>

この資料は気象庁のほか、東北大学、国立研究開発法人防災科学技術研究所、及び公益財団法人地震予知総合研究振興会のデータも利用して作成しています。

本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院発行の「数値地図50mメッシュ（標高）」及び「電子地形図（タイトル）」を使用しています。

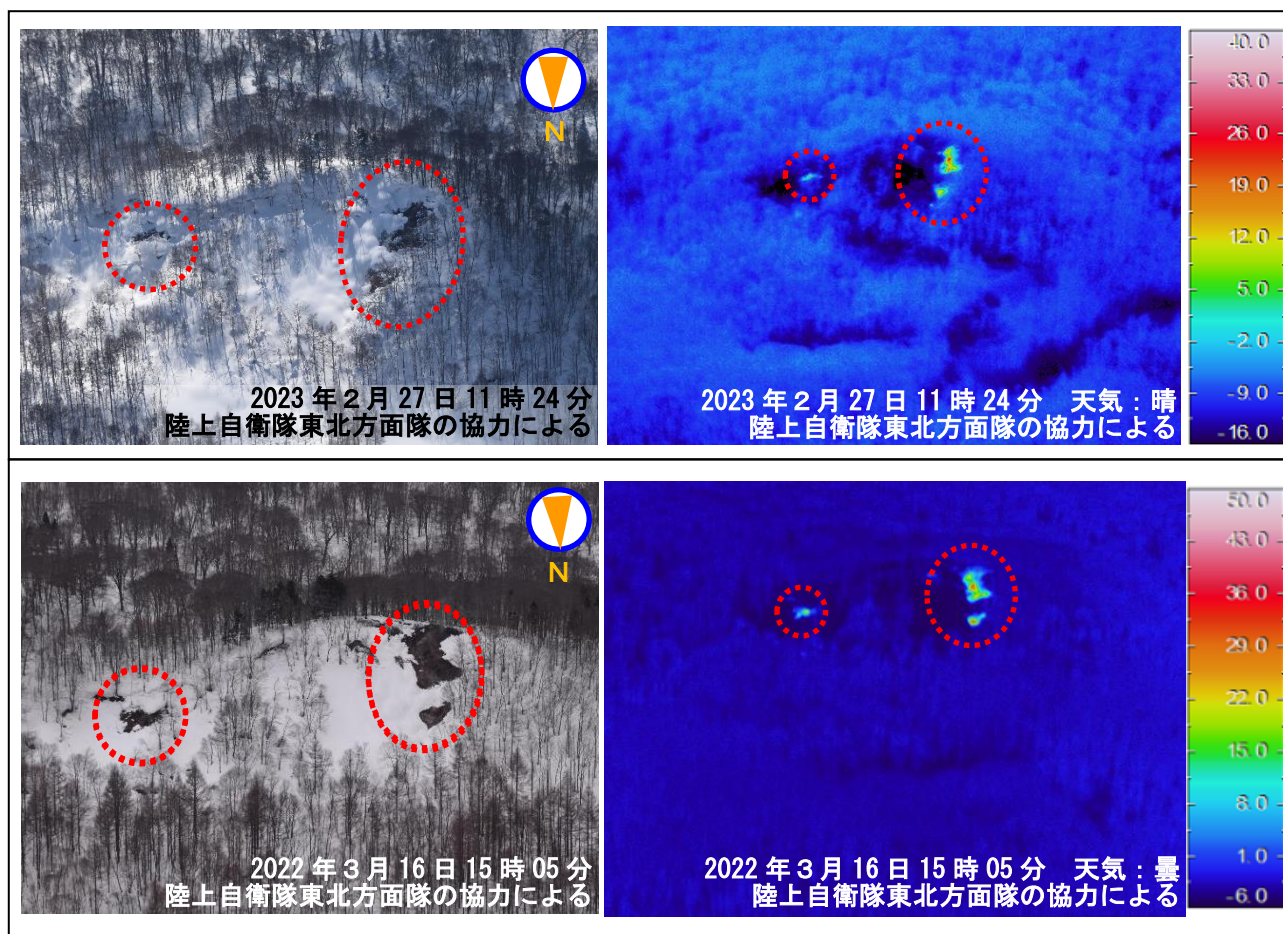


図2 八幡平 上空から撮影したよんご沼南噴気の状態と地表面温度分布

昨年の観測と比較して特段の変化は認められませんでした。

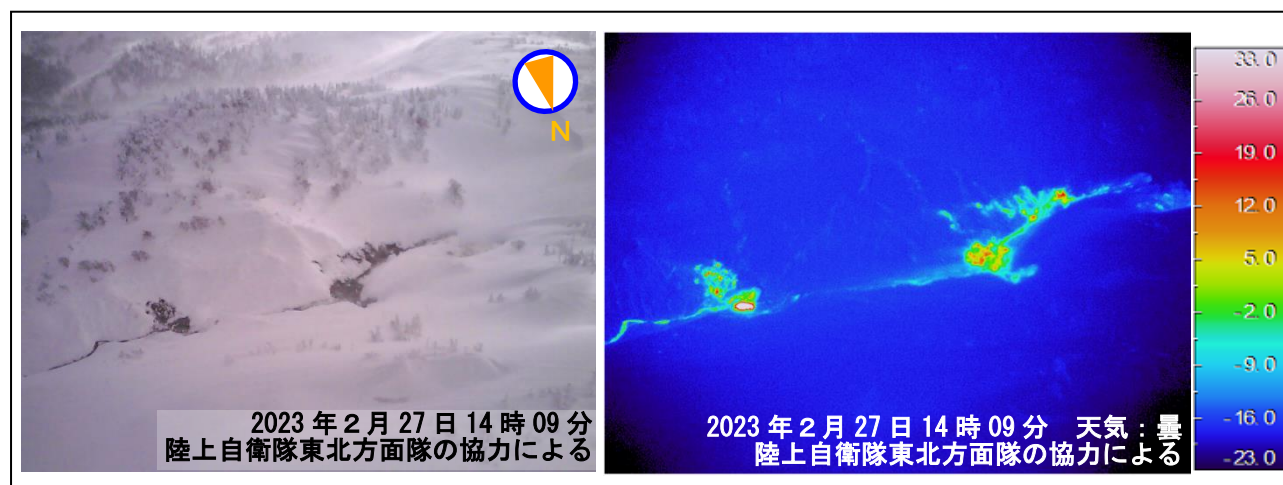


図3 八幡平 上空から撮影した藤七温泉付近の状況と地表面温度分布

2021年10月12日の現地調査で確認された噴気や地熱域、温泉水の湧出が引き続き認められました。

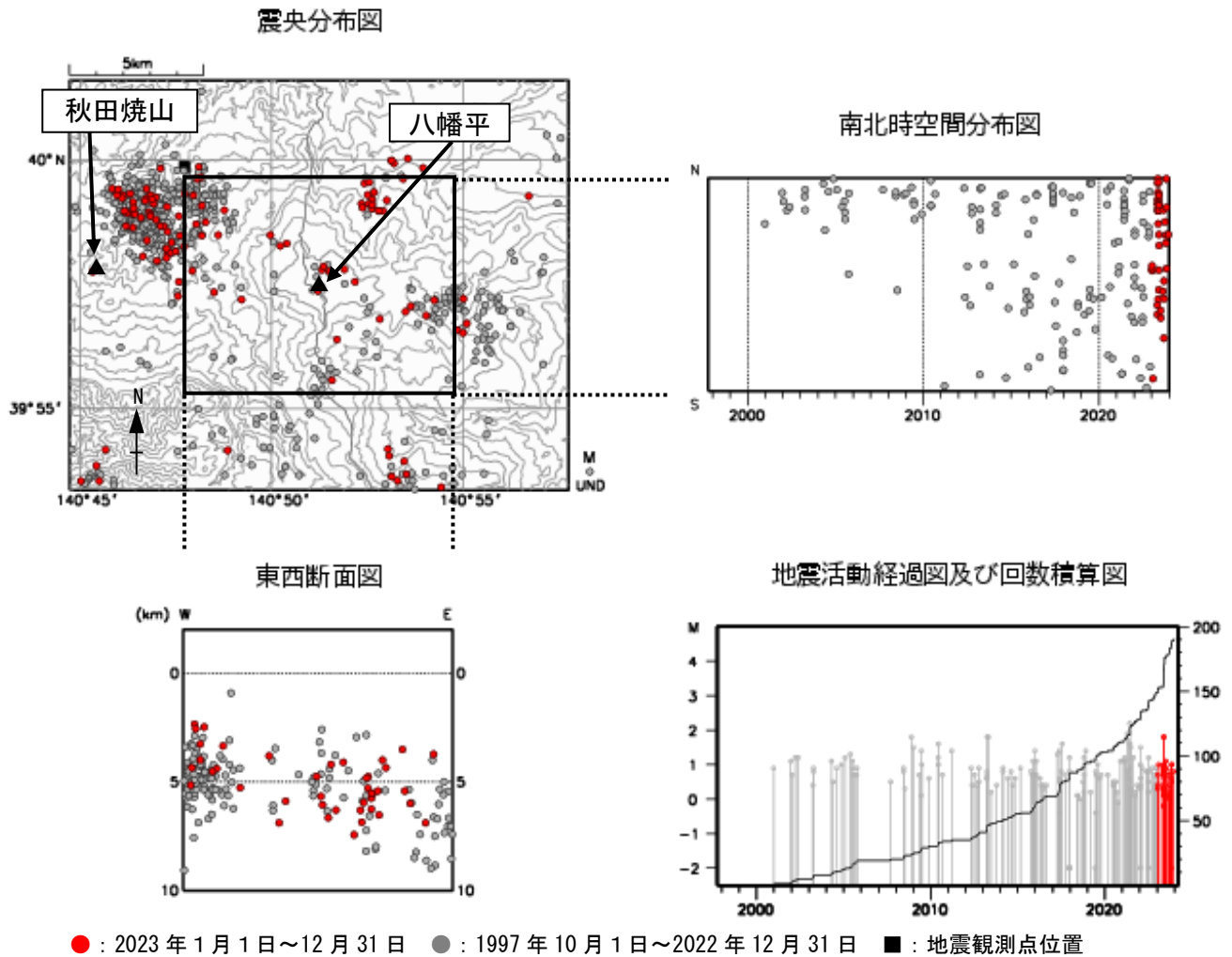


図4 八幡平 広域地震観測網による地震活動（1997 年 10 月～2023 年 12 月）

- ・ 2001 年 10 月以降、検知能力が向上しています。
- ・ 2020 年 9 月以降の震源は、地震観測点の標高を考慮する等した新手法で求められています。

八幡平付近を震源とする地震は少ない状態で経過しました。

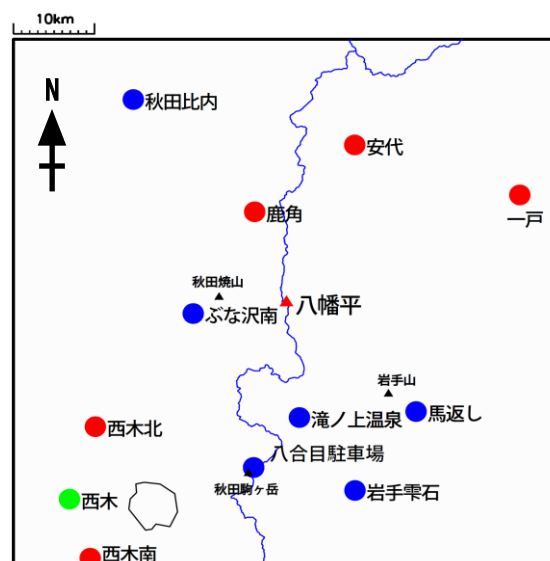


図5 八幡平周辺の地震観測点

青丸（●）は気象庁、緑丸（●）は東北大学、赤丸（●）は防災科学技術研究所の観測点位置を示しています。